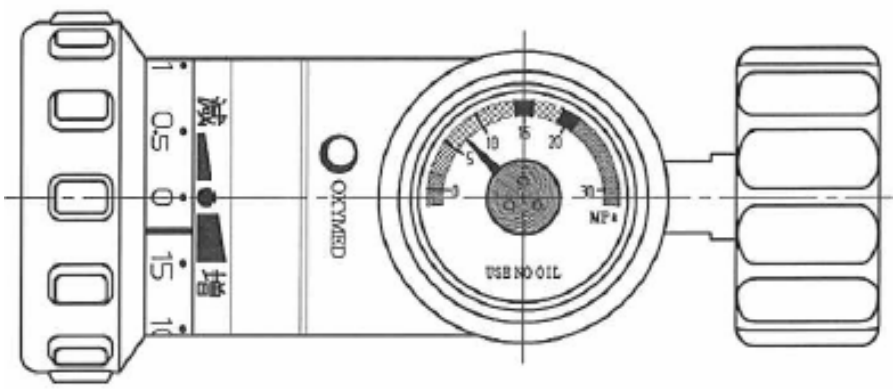
大陽日酸
The Gas Professionals

No.OI－7877R3

取　扱　説　明　書

医療用酸素流量調整器
MORS 型

製造販売届出番号 13B2X00193000003



- **使用する前に必ず本取扱説明書をお読みください。**
- 本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながる危険性がありますのでご注意ください。
- **本取扱説明書は、常に本品のそばに置いていつでも読めるようにしてください。**
- 本取扱説明書にてご不明な点ございましたら、取扱い販売店にご連絡ください。取扱い販売店が不明な場合は、製造販売元（裏表紙参照）までご連絡ください。

製造販売元 ：大陽日酸株式会社

目次

1. はじめに	1
2. 安全に使用していただくために	2・3・4
3. 製品の構成	4
4. 各部の名称とはたらき	5・6
5. 使用方法	7
⑴ 使用前準備-1	7・8
⑵ 使用前準備-2	8
⑶ 使用前準備-3	9
⑷ 酸素吸入開始時の使用方法	9
⑸ 酸素吸入終了時の使用方法	10
6. 使用環境・保管環境について	10
7. 保守点検について	11
8. 故障・異常の見分け方と処置方法	12・13
9. 廃棄について	13
10. 製品保証	13
11. 製品仕様	14
12. 適用法規	14
日常点検表	15

1. はじめに

本品は、酸素療法を必要とする患者を対象として、酸素ボンベに充てんされている高圧酸素ガスを減圧させ、低圧になった酸素ガスを処方量に合わせて患者に提供することのできる酸素流量調整器です。

使用する前に本取扱説明書を必ずお読みください。本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながる危険性があります。以下に示す注意事項に従わないことにより生じた事故ならびに故障については、当社は一切の責任と保証を負いかねます。

本取扱説明書にてご不明な点がございましたら、取扱い販売店にご連絡ください。取扱い販売店が不明な場合は、製造販売元（裏表紙参照）までご連絡ください。

また、本取扱説明書では本品を安全にご使用いただくために、安全についての表示を次のように使い分けております。

ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載してありますので、必ず守ってください。安全注意事項ランクを「危険」「警告」「注意」と区別してあります。

⚠ **危険**	取扱いを誤った場合に、死亡、重傷又は重大な物的損害を招く差し迫った危険があるリスクを示しています。
⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、死亡、重傷又は重大な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクを示しています。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、軽傷又は軽微な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクを示しています。

＜図記号の意味＞具体的内容の近傍に示されています。

	してはいけない「禁止」内容を示します。
	必ず実行していただく「強制」の内容を示します。

2. 安全に使用していただくために

⚠ 危険

・ 本品を用いる上で、人身事故や火災等の危険を減少させるための安全予防措置として以下 (1) ～ (13) の事項を遵守してください。

(1) ⃠ **火気厳禁**

酸素は燃えている物の火力を強くする支燃性の性質も持っています。本品を使用する際、火気 (ストーブ、タバコ等) から 2m以上離れてご使用ください。火災・火傷の原因となります。

(2) ⃠ **油脂類厳禁**

本品には潤滑油は不要ですので、油やグリスなどを使用しないでください。また、本品及び酸素ボンベに油やグリスの付着した手で触ったり、油やグリスが付着するようなことはしないでください。火災・火傷の原因となります。

(3) ⃠ **使用ガス注意**

本品は日本薬局方の医療用酸素用です。それ以外のガスには、使用しないでください。間違ったガスを患者が吸入して、重大な人身事故の原因となります。

(4) ❗ **換気注意**

本品を使用する際、換気を十分にしていることを確認してからご使用ください。火災・火傷の原因となります。

(5) ⃠ **酸素ボンベ取り扱い注意**

本品を使用する際、酸素ボンベのボンベ元栓は急激に開けないでください。火災・火傷の原因となります。

本品を取り付けた酸素ボンベは 40℃以上となる場所では使用・保管しないでください (直射日光があたる場所・暖房器具の側・夏場の自動車内等)。火災・火傷の原因となります。

(6) ⃠ **衝撃厳禁**

本品を取り付けた酸素ボンベは不安定な場所に置いて転倒しないようにしてください。本品を取り付けた酸素ボンベごと転倒して、外傷を負うなど重大な人身事故の原因となります。また、本品が落下等の強い衝撃を受けたときは、使用を中止し取扱い販売店にご連絡ください。本品の内部部品故障し、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります。

(7) ⃠ **損傷機器の使用禁止**

本品がひび割れ等損傷・変形している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。本品の内部部品故障し、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります。

(8) ⃠ **使用場所の限定**

本品をＭＲ室 (磁場発生場所) へは持込まないでください。重大な人身事故や故障の原因となります。正常な機能が維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。

(9) **分解・改造厳禁**

本品を分解や改造等しないでください。高圧な酸素ガスが急激に漏れて、火災・火傷の原因となります。

(10) **接続部緩み**

使用前に本品の接続部に緩みがないことを確認してください。接続部に緩みがあるとガス漏れの原因となります。高圧な酸素ガスが急激に漏れて、火災・火傷の原因となります。また、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります。ガス漏れがある場合は酸素ボンベのボンベ元栓を閉じ、使用を中止し取扱い販売店にご連絡ください。

また、接続部の緩みが発生する可能性のある下記事項には注意してください。

① 本品を取り付けた酸素ボンベには激しい振動を与えないようにしてください。

② 本品を取り付けた酸素ボンベを持ち歩く時には、本品に手をかけて持ち歩かないようにしてください。

(11) **使用・保管環境**

本品は、直射日光、高温、結露が生じるような環境、酸性ガス、塩分、ほこり、ゴミ、雨、水などをさけて使用・保管してください。正常な機能が維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。

(12) **使用上の注意**（遵守しないと、重大な人身事故が起こることがあります。）

＜使用前準備における注意＞

① 使用前に酸素ボンベのガス残量が十分であるか、本品の圧力計を確認してください。ガス残量が黄色ラインまで達している場合は、ガス残量が十分である新しい酸素ボンベに交換してください。十分な酸素吸入時間が保持できない原因となり、重大な人身事故の原因となります。

② 本品の酸素ボンベへの取り付け・取り外しは、医師・医療従事者・専門業者またはこれらの方から指導を受けた方が行ってください。高圧な酸素ガスが急減に漏れて、火災・火傷の原因となります。

③ 本品を酸素ボンベに取り付ける際に、ボンベのガス出口及び本品のガス導入口に油・汚れ・異物が付着していないことを確認してください。火災・火傷の原因となります。

④ 本品を酸素ボンベに取り付ける際に、本品のガス導入口に適切なパッキンが装着されていることを確認してください。パッキンが装着されていなかったり、ゴムが傷んでいるパッキンや弊社が指定していないパッキンが装着されていると急激なガス漏れが生じ、火災・火傷の原因となります。

⑤ 本品を酸素ボンベに取り付けた後、ボンベの元栓を開けた状態ではボンベ取付ハンドルを回さないでください。高圧な酸素ガスが急激に漏れて、火災・火傷の原因となります。

⑥ 本品の下部に設けられたガス抜き穴をテープなどで塞がないでください。減圧機構部が正常に作動せず、処方の酸素流量を吸入できません。

⑦ 本品に加湿瓶を取り付けて使用される場合は、精製水以外は絶対に使用しないでください。重大な人身事故の原因となります。

＜酸素吸入開始時における注意＞

⑧ 本品は、医師の処方流量に従って流量を設定して使用してください。また、本品におきましては、流量調整ハンドルを時計方向に回すと流量が増加します。設定する際は処方流量になっているか必ず流量目盛を確認してください。処方の酸素流量を吸入できない原因となります。

⑨ 本品の流量を設定する際には、流量調整ハンドルを「カチッ」と音がするまで回し適切に流量目盛が設定されていることを確認してください（流量目盛の中間位置に設定された場合は酸素ガスが出なくなります）。処方の酸素流量を吸入できない原因となります。

⑩ ボンベ元栓を開けた状態では、流量調整ハンドルを回して流量を設定する時には、無理な方向に強く力をかけすぎないようにしてください。事故や故障の原因となります。

⑪ 鼻カニューラやマスクなどをガス吐出口に差し込むときには、必ず奥まで確実に差し込んでください。また、チューブのねじれ、折り曲げ、亀裂、結露がないか確認してください。処方の酸素流量を吸入できない原因となります。

＜酸素吸入終了時における注意＞

⑫ 使用を止める時には、酸素ボンベのボンベ元栓を全閉状態にしてください。ボンベの元栓を閉める際には、時計回りに回してください。ボンベ元栓が開いたまま、流量目盛を「0」にしただけで長期保管をしていると、酸素ボンベ残量が少なくなり、次回使用時に残量が十分でない可能性があります。

⑬ 本品に加湿瓶を取り付けて使用される場合は、加湿瓶内の精製水は定期的に交換願います。加湿瓶内に長期間水をいれたままで放置していると、藻・水アカの発生などにより加湿瓶フィルターが目詰まりし、処方の酸素流量を吸入できない原因となります。また、加湿瓶内の水が少なくなった場合も衛生上注ぎ足しはせず、新しい精製水に入れ替えてください。

(13) **点検に関する注意**（遵守しないと重大な人身事故が起こることがあります。）

① 本品は安全及び機能維持のために所定の日常・定期点検を必ず行ってください。故障が生じていた場合、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります。

② 本品の使用後のクリーニングにおいては、ぬるま湯に布を浸し、軽くしぼり、本品の外面をきれいになるまで洗浄してください。本品を消毒液や水などの液体には浸さないでください。正常な機能を維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。

③ 本品をオートクレーブ滅菌（高圧蒸気滅菌）しないでください。正常な機能を維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。

3. 製品の構成

梱包箱の中には下記の物が入っていますので確認してください。

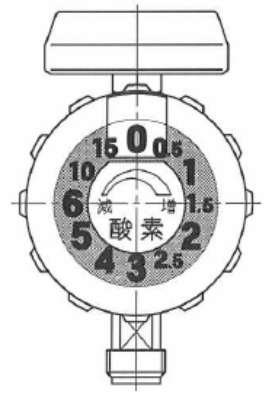
■本体：1 式、予備パッキン：1 枚、取扱説明書・添付文書：各 1 部

また、本品は以下品番によって以下オプションが追加されます。

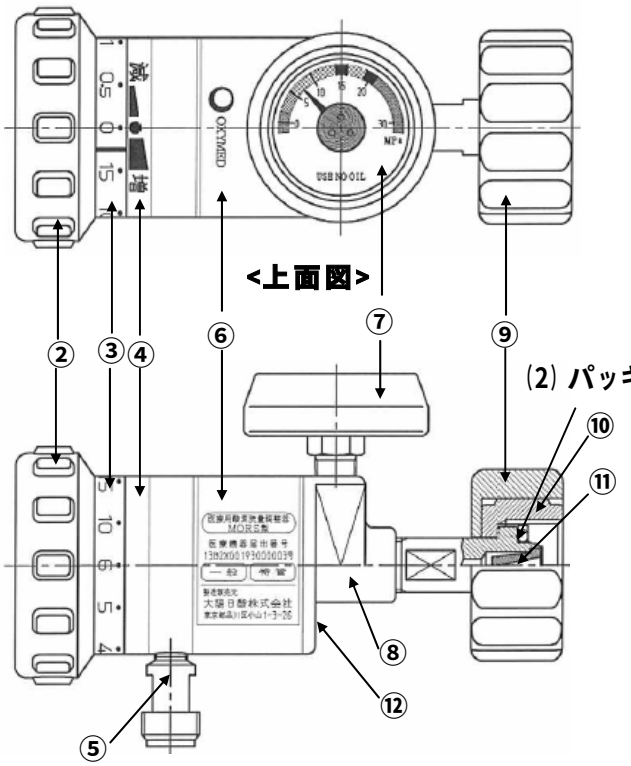
品番	追加部品	
MORS-15	タケノコ型コネクタ	1 式
MORS-15K	加湿瓶（届出番号：20B2X00025000008）	1 式

4. 各部の名称とはたらき

(1) 本体



<側面図>

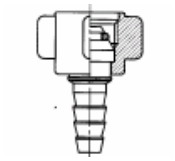


<上面図>

<正面図>

(2) パッキン

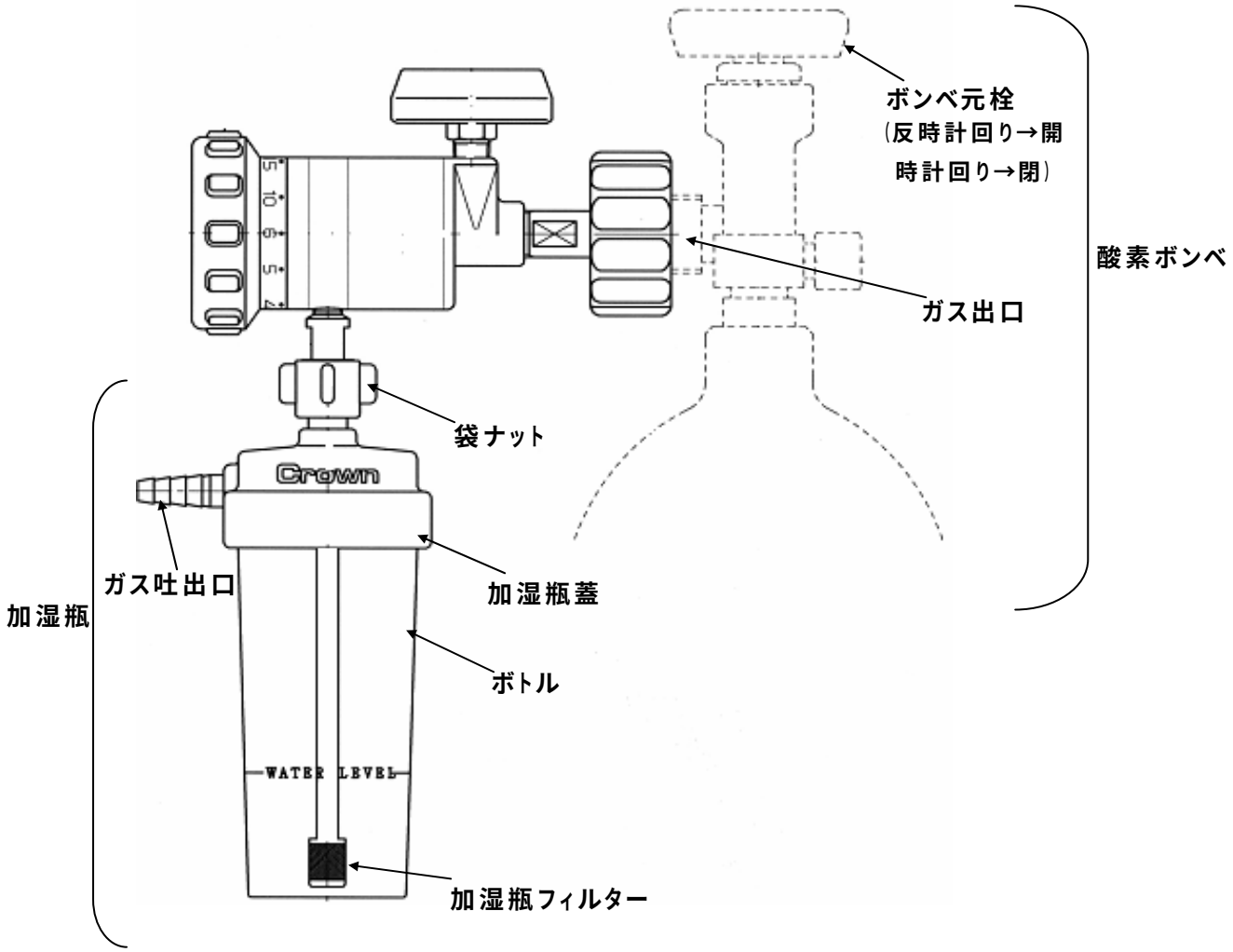
(2) パッキン



(3) タケノコ型コネクタ
(品番 MORS-15 の場合)

番号	名称	機能及び動作
(1)本体		
①	流量目盛銘板(側面)	側面の設定流量目盛(L/分)の銘板。
②	流量調整ハンドル	酸素ガスの流量設定をすることのできるツマミ。 【時計回り(開)→流量増、反時計回り(閉)→流量減】
③	流量目盛銘板(上面)	上面の設定流量目盛(L/分)の銘板。
④	増減シール	流量設定を増減させる際の流量調整ハンドルの回転方向を示す銘板。また、上面の流量指示部(●)を含む。
⑤	出口継手	吐出される酸素ガスの通路。タケノコ型コネクタおよび加湿器への接続部。【本体に対して 360 度回転可能。】
⑥	調整器カバー	酸素ガスの流量調整する機能をもつ部屋。
⑦	圧力計	ボンベ内の酸素ガスの残圧を確認できる。
⑧	調整器本体	酸素ガスを減圧する機能をもつ部屋。
⑨	ボンベ取付ハンドル	ボンベ取付ナットを手締めで固定するためのハンドル。
⑩	ボンベ取付ナット	ボンベと調整器本体を固定するための押しネジ。
⑪	ガス導入口	酸素ガスが導入される入口。
⑫	ガス抜き穴	本品の減圧機構部を正常に保つための抜け穴。
(2) パッキン		酸素ボンベからの高圧の酸素ガスを気密する。
(3) タケノコ型コネクタ		出口継手に取付け可能なタケノコ型形状継手。

(4) 酸素ボンベへの本品取付け図
(品番 MORS-15K の場合)



5. 使用方法

(1) 使用前準備-1

⚠ 危険

- **本品は日本薬局方の医療用酸素用です。それ以外のガスには、使用しないでください。間違ったガスを患者が吸入して、重大な人身事故の原因となります。**
- **本品を使用する際、酸素ボンベのボンベ元栓は急激に開けないでください。火災・火傷の原因となります。**
- **本品を取り付けた酸素ボンベは不安定な場所に置いて転倒しないようにしてください本品を取り付けた酸素ボンベごと転倒して、外傷を負うなど重大な人身事故の原因となります。本品が落下等の強い衝撃を受けたときは、使用を中止し取扱い販売店にご連絡ください。本品の内部部品が故障し、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります。**
- **本品がひび割れ等損傷・変形している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。本品の内部部品が故障し、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります。**
- **使用前に酸素ボンベのガス残量が十分であるか、本品の圧力計を確認してください。ガス残量が黄色ラインまで達している場合は、ガス残量が十分である新しい酸素ボンベに交換してください。十分な酸素吸入時間が保持できなくなり、重大な人身事故の原因となります。**
- **本品の酸素ボンベへの取り付け・取り外しは、医師・医療従事者・専門業者またはこれらの方から指導を受けた方が行ってください。高圧な酸素ガスが急減に漏れて、火災・火傷の原因となります。**
- **本品を酸素ボンベに取り付ける際に、ボンベのガス出口及び本品のガス導入口に油・汚れ・異物が付着していないことを確認してください。火災・火傷の原因となります。**
- **本品を酸素ボンベに取り付ける際に、本品のガス導入口に適切なパッキンが装着されていることを確認してください。パッキンが装着されていなかったり、ゴムが傷んでいるパッキンや弊社が指定していないパッキンが装着されていると急激なガス漏れが生じ、火災・火傷の原因となります。**
- **本品の下部に設けられたガス抜き穴をテープなどで塞がないでください。減圧機構部が正常に作動せず、処方の酸素流量を吸入できません。**
- **使用前に本品の接続部に緩みがないことを確認してください。高圧な酸素ガスが急激にに漏れて、火災・火傷の原因となります。また、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります。ガス漏れがある場合は酸素ボンベのボンベ元栓を閉じ、使用を中止し取扱い販売店にご連絡ください。**
- **本品を酸素ボンベに取り付けた後、ボンベの元栓を開けた状態ではボンベ取付ハンドルを回さないでください。高圧な酸素ガスが急減に漏れて、火災・火傷の原因となります。**

① **本品がひび割れ等損傷・変形していないことを確認してください。また、本品の圧力計の指針が正常（ゼロ付近）であるか確認してください。**

② **本品を取り付けるボンベが医療用酸素ボンベであることを確認してください。**

③ **ボンベのガス出口及び本品のガス導入口に油・汚れ・異物が付着していないことを確認してください。**

④ **本品のガス導入口に適切なパッキンが装着されていることを確認してくださ**

い。パッキンに劣化･損傷がある場合は予備パッキンに交換してください。

⑤ 酸素ボンベのガス出口に本品のガス導入口を合わせてボンベ取付ハンドルを**時計回り**に回して、しっかりねじ込み固定してください。（本品は手締めのみでボンベに固定することは可能ですが、ボンベ取付けハンドルをスライドすることでスパナまたはモンキーレンチでの取付けも可能です。）

⑥ 本品を取り付けた酸素ボンベは専用の容器立て、台車、ストレッチャー等にしっかりと固定してください。

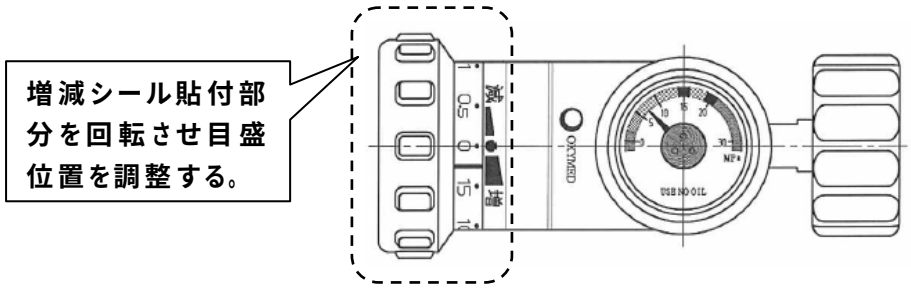
⑦ 圧力計を見やすい向きの方向に合わせてください。また、流量目盛りの増減シール貼付部分を回転させ、流量指示部（増減シールの●印）を見やすい位置に合わせてください（図.1）。（加圧後は、目盛位置の調整ができなくなります）

⑧ 本品の流量目盛が「0」であることを確認して、酸素ボンベのボンベ元栓を手でできるだけ**ゆっくり**と開け（**反時計回り**）、本品の圧力計の指針が上がったことを確認してから全開に開けてください。

⑨ ボンベ元栓を全開にした後、「シュー」というガス漏れ音がしないか確認してください。ガス漏れがある場合は、ボンベ元栓を閉じて（**時計回り**）、再度接続部の緩みがないか確認してください。緩みがない場合は、酸素ボンベから本品を取り外し、パッキンに異常がないか確認してください。パッキンにも異常がない場合は、使用を中止して取扱い販売店へ連絡してください。

⑩ 流量目盛を「0」以外に合わせて、この時出てくる酸素に異臭がしたら、直ちにボンベ元栓を閉じて（時計回り）、取扱い販売店へ連絡してください。

⑪ 酸素ボンベのガス残量が十分であるか、本品の圧力計を確認してください。ガス残量が黄色ラインまで達している場合は、ガス残量が十分である新しい酸素ボンベに交換してください。



⑵ 使用前準備-2 【品番 MORS-15 の場合：タケノコ型コネクタ装着】

① 本品の出口継手部にタケノコ型コネクタの袋ナットをねじ込み、手締めでしっかりと固定してください。

⑶ 使用前準備-3 【品番 MORS-15K の場合：加湿瓶装着】

⚠ 危険

- 本品に加湿瓶を取り付けて使用される場合は、精製水以外は絶対に使用しないでください。重大な人身事故の原因となります。
- 本品に加湿瓶を取り付け使用される場合は、加湿瓶内の精製水は定期的に交換願います。加湿瓶内に長期間水を入れたままで放置していると、藻・水アカの発生などにより加湿瓶フィルターが目詰まりし、処方の酸素流量を吸入できない原因となります。また、加湿瓶内の水が少なくなった場合も衛生上注ぎ足しはせず、新しい精製水に入れ替えてください。

① 加湿瓶蓋をボトルから外してください（反時計回り）。
② 精製水をボトルの標準水位（WATER LEVEL）まで注入してください。（ボトルに精製水を注入する前に、必ず水洗い等の洗浄を行ってください。）
③ ボトルに加湿瓶蓋をしっかりねじ込んでください。
④ 本品の出口継手部に加湿瓶の袋ナットをねじ込み、手締めでしっかりと固定してください。
⑤ 加湿瓶の向きは、出口継手を回転させ垂直になるよう調節してください。
（出口継手部の回転は、加圧後も可能です）

⑷ 酸素吸入開始時の使用方法

⚠ 危険

- 本品は、医師の処方流量に従って流量を設定して使用してください。また、本品におきましては、流量調整ハンドルを時計方向に回すと流量が増加します。設定する際は処方流量になっているか必ず流量目盛を確認してください。処方の酸素流量を吸入できない原因となります。
- 本品の流量を設定する際には、流量調整ハンドルを「カチッ」と音がするまで回し適切に流量目盛が設定されていることを確認してください（流量目盛の中間位置に設定された場合は酸素ガスが出なくなります）。処方の酸素流量を吸入できない原因となります。
- ボンベ元栓を開けた状態では、流量調整ハンドルを回し流量を設定する時には無理な方向に強く力をかけすぎないようにしてください。事故や故障の原因となります。
- 鼻カニューラやマスクなどをガス吐出口に差し込むときには、必ず奥まで確実に差し込んでください。また、チューブのねじれ、折り曲げ、亀裂、結露がないか確認してください。処方の酸素流量を吸入できない原因となります。

① 鼻カニューラ・マスクチューブをガス吐出口に差し込みます。
② 流量調整ハンドルを回して、処方された流量の数値を流量目盛に合わせて設定します。流量を設定した後、酸素ガスの吸入を開始します。

(5) 酸素吸入終了時の使用方法

⚠ 危険

- 本品を酸素ボンベに取り付けた後、ボンベの元栓を開けた状態ではボンベ取付ハンドルを回さないでください。高圧な酸素ガスが急激に漏れて、火災・火傷の原因となります。
- 使用を止める時には、酸素ボンベのボンベ元栓を全閉状態にしてください。ボンベの元栓を閉める際には、時計回りに回してください。ボンベ元栓が開いたまま、流量目盛を「0」にしただけで長期保管をしていると、酸素ボンベ残量が少なくなり、次回使用時に残量が十分でない可能性があります。
- 本品に加湿瓶を取り付けて使用される場合は、加湿瓶内の精製水は定期的に交換願います。加湿瓶内に長期間水を入れたままで放置していると、藻・水アカの発生などにより加湿瓶フィルターが目詰まりし、処方の酸素流量を吸入できない原因となります。また、加湿瓶内の水が少なくなった場合も衛生上注ぎ足しはせず、新しい精製水に入れ替えてください。

① 使用を止めるときは、ボンベ元栓を「閉」方向（時計回り）に回して閉じて、本品および鼻カニューラ・マスクから酸素ガスが出なくなったことを確認後、流量目盛を「0」に合わせてください。

② 本品のボンベ取付ハンドルを**反時計回り**に回して、酸素ボンベから外してください。外れない場合は、①の作業を行っていない可能性がありますので、再度ご確認ください。

③ 加湿瓶の袋ナットを緩め、本品から加湿瓶を取り外してください。加湿瓶内の精製水を捨て洗浄し、よく乾燥させてから保管してください。また、洗浄の際は、ボトルに傷がつかないようにやわらかいスポンジ等をご使用ください。
（品番 MORS-15K の場合）

6. 使用環境・保管環境について

⚠ 危険

- 酸素は燃えている物の火力を強くする支燃性の性質も持っています。本品を使用する際、火気（ストーブ、タバコ等）から 2m以上離れてご使用ください。火災・火傷の原因となります。
- 本品を使用する際、換気を十分にしていることを確認してからご使用ください。火災・火傷の原因となります。
- 本品を取り付けた酸素ボンベは 40℃以上となる場所では使用・保管しないでください（直射日光があたる場所・暖房器具の側・夏場の自動車内等）。火災・火傷の原因となります。
- 本品をＭＲ室（磁場発生場所）へは持込まないでください。正常な機能を維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。
- 本品は、直射日光、高温、結露が生じるような環境、酸性ガス、塩分、ほこり、ゴミ、雨、水などをさけて使用・保管してください。正常な機能を維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。

7. 保守点検について

⚠ 危険

- 本品には潤滑油は不要ですので、油やグリスなどを使用しないでください。また、本品及び酸素ボンベに油やグリスの付着した手で触ったり、油やグリスが付着するようなことはしないでください。火災・火傷の原因となります。
- 本品がひび割れ等損傷している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。本品の内部部品が故障し、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。
- 本品を分解や改造等しないでください。高圧な酸素ガスが急激に漏れて、火災・火傷の原因となります。
- 本品は安全及び機能維持のために所定の日常・定期点検を必ず行ってください。故障が生じていた場合、適切な量の酸素を供給できなくなり、重大な人身事故の原因となります
- 本品の使用後のクリーニングにおいては、ぬるま湯に布を浸し、軽くしぼり、本品の外面をきれいになるまで洗浄してください。消毒液や水などの液体には浸さないでください。正常な機能を維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。
- 本品をオートクレーブ滅菌（高圧蒸気滅菌）しないでください。正常な機能を維持できなくなり、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。

(1) 日常点検

本品は 15 ページの添付の点検表により必ず使用前・使用後に点検を行ってください。

※本品は性能、安全性確保のために、年に 1 回毎の定期点検及び 3 年に 1 回毎の定期メンテナンスを行う必要があります。取扱い販売店にご連絡ください。

8. 故障･異常の見分け方と処置方法

⚠ 危険

- 本品を酸素ボンベに取り付けた後、ボンベの元栓を開けた状態ではボンベ取付ハンドルを回さないでください。高圧な酸素ガスが急激に漏れて、火災･火傷の原因となります。
- 本品がひび割れ等損傷している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。本品の内部部品が故障し、適切な量の酸素を供給できず、重大な人身事故の原因となります。
- 本品を分解や改造等しないでください。高圧な酸素ガスが急激に漏れて、火災･火傷の原因となります。

⑴ 故障？と思われた場合。

本品より以下の現象を確認した場合には、以下表を参考に対応してください。

故障状況	確認	処置
酸素が出ない。 または出が少ない。	ガス残量が赤ラインまで達していませんか？	ガス残量が十分である新しい酸素ボンベと交換してください。
	ボンベ元栓が「閉」になっていませんか？	ボンベ元栓をゆっくり「開」方向（反時計回り）に回して、全開に開けてください。
	流量目盛が「0」になっていませんか？	流量調整ハンドルを回し処方流量に合わせてください。
	流量目盛が中間位置になっていませんか？	流量調整ハンドルを「カチッ」と音がするまで回し適切に流量目盛を設定してください。
	鼻カニューラ･マスクがガス吐出口に適切に接続されていますか？	鼻カニューラ･マスクをガス吐出口にしっかりと差し込んでください。
	チューブにねじれ、折り曲げ、亀裂、結露がありませんか？	チューブのねじれ、折り曲げをなくしてください。亀裂がある場合は新品と交換してください。
	加湿瓶フィルターが目詰まりしていませんか？	目詰まりしている場合は、加湿瓶フィルターを新品と交換してください。
	上記すべて確認の上酸素が出ない、または出が少ない場合。	使用を中止して（ボンベ元栓を閉じて）、取扱い販売店へ連絡してください。

故障状況	確認	処置
「シュー」というガス漏れ音がする。	ボンベとの接続部で緩みがありませんか？	緩みがある場合は、ボンベ元栓を閉じて、ボンベ取付けハンドルを再度締め付けてください。
	パッキンが装着されていますか？	適切な（劣化・損傷がない弊社指定の）パッキンを装着してください。
	パッキンが劣化・損傷していませんか？	パッキンを予備パッキンに交換してください。
	鼻カニューラ・マスクがガス吐出口に適切に接続されていますか？	鼻カニューラ・マスクをガス吐出口にしっかりと差し込んでください。
	上記すべて確認の上「シュー」というガス漏れ音がする場合。	使用を中止して（ボンベ元栓を閉じて）、取扱い販売店へ連絡してください。
酸素ガスの異臭がある場合。	異臭を確認した場合は再度吸入確認しないでください。	使用を中止して（ボンベ元栓を閉じて）、取扱い販売店へ連絡してください。

⑵ 上記の故障以外で故障と思われる場合。

使用を中止して、取扱い販売店へ連絡してください。取扱い販売店が不明な場合は製造販売元（裏表紙参照）へ連絡してください。

9. 廃棄について

本品を廃棄するときは医療用廃棄物として処理する必要がありますので、取扱い販売店にご連絡ください。

10. 製品保証

⑴ 保証範囲

保証期間内に、当社納入品に当社の責任による故障を生じた場合には、無償修理を行います。

⑵ 保証期間

本品の保証期間は、当社出荷後 1 年間とします。

⑶ 保証対象外

下記のいずれかに該当する場合には、保証の対象外とさせて頂きます。

① 天災、火災、水害等不可効力により生じた故障。
② 本書の「危険」「警告」「注意」に示す事項を守らなかったことによる故障。
③ 当社もしくは、当社が委嘱した者以外が改造、分解、修理した製品の故障。
④ 外部より異物が混入したことにより発生した故障。
⑤ その他当社の責任外と判断される故障。

11. 製品仕様

製品名	医療用酸素流量調整器　MORS 型	
型式	MORS-15 （タケノコ型コネクタ付き）	MORS-15K （加湿瓶付き）
使用ガス	医療用酸素ガス	
使用温度	-10～40℃	
保管温度	-10～50℃	
最大入口圧力	21MPa	
出口圧力	0.13MPa	
流量範囲	0～15L/分	
流量目盛	0/0.5/1/1.5/2/2.5/3/4/5/6/10/15　L/分	
流量精度※1	1L/分未満：±20%（設定値に対して） 1L/分以上：±10%（設定値に対して）	
入口形状	W22-14 山（右）メス	
出口形状	酸素用 DISS コネクタ(No.1240)オス	

※1　入口圧力が 8MPa の時

12. 適用法規

薬事法　医療機器
製造販売届出番号：13B2X00193000003
類別：機械器具 6 呼吸補助器、クラス分類：一般医療機器
一般的名称：高圧ガスレギュレータ
特定保守管理医療機器：該当

ー 医療用酸素流量調整器 MORS 型日常点検表 ー			
型式	□MORS-15 □MORS-15K	製造番号	
検査目的	日常点検	検査期日	年　月　日

項目	詳細内容	判定
(1)周囲環境	取扱説明書を備えていますか？	□OK □NG
	火気から 2m以上離れていますか？	□OK □NG
	換気が十分ですか？	□OK □NG
	周囲温度が-10～40℃の範囲内ですか？	□OK □NG
	ほこりや結露が生じるような環境でないですか？	□OK □NG
⑵ 酸素ボンベ	本品を取付けるボンベは医療用酸素ボンベですか？	□OK □NG
	酸素ボンベが転倒しないようにしていますか？	□OK □NG
	酸素ボンベに直射日光が当たっていませんか？	□OK □NG
	酸素ボンベの残量が十分ですか？	□OK □NG
⑶ 使用前-1	本品は定期点検（1 年毎）・定期メンテナンス（3 年毎）を実施していますか？	□OK □NG
	本品が損傷・変形していないですか？	□OK □NG
	本品の圧力計の指針は正常ですか？	□OK □NG
	ボンベガス出口・本品のガス導入口に油・汚れ・異物の付着はありませんか？	□OK □NG
	本品のガス導入口に適切なパッキンが装着されていますか？	□OK □NG
	ボンベ元栓をゆっくりと開けるよう心がけていますか？	□OK □NG
	「シュー」というガス漏れ音はしませんか？	□OK □NG
	酸素ガスに異臭はありませんか？	□OK □NG
⑷ 使用前-2 MORS-15K のみ	加湿瓶のボトル内に精製水が標準水位まで入っていますか？	□OK □NG
	加湿瓶のボトル・フィルターに水アカなどの汚れはありませんか？	□OK □NG
⑸ 使用開始後	カニューラをガス吐出口に確実に差し込みましたか？	□OK □NG
	カニューラのねじれ、折り曲げ、亀裂、結露等はありませんか？	□OK □NG
	医師の処方に合った流量に設定していますか？（流量目盛の中間位置に設定されていませんか？）	□OK □NG
⑹ 使用終了後	酸素ボンベの元栓を閉じて、本品内の酸素ガスを抜いて流量目盛を「0」にあわせましたか？	□OK □NG
	保管は正しくされていますか？	□OK □NG
総合判定	□OK	
	□NG ※上記判定において NG があり、P12・13 の処置を実施しても対応できない場合取扱い販売店へご連絡ください。	

＜取扱い販売店＞

製造販売元

大陽日酸株式会社

バイオ･メディカル事業部　営業部
〒142-8558
東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
TEL 03(5788)8340　FAX 03(5788)8710

2011 年 2 月 4 日作成

MHM-001R (00)